

糖尿病治療薬(内用糖尿病治療薬・インスリン製剤)

□ 共通重点指導項目

- 低血糖症状の理解、低血糖出現の有無と糖分またはブドウ糖(α-GI処方時)の携帯
- 用法の再確認(特に食事との関係)、服用忘れ時の対処法
- Sick Dayの指示確認、併用薬による血糖値の変動について

内用糖尿病治療薬

一般名	製剤名	1日用量	特定確認項目
スルホニル尿素薬(SU)			
<input type="checkbox"/> トルブタミド	ラスチノン	500~2000	重篤な肝・腎機能障害禁忌
<input type="checkbox"/> グリベンクラミド	オイグルコン・ダオニール	1.25~10	重篤な肝・腎機能障害禁忌
<input type="checkbox"/> グリクラシド	グリミクロン	20~160	重篤な肝・腎機能障害禁忌
<input type="checkbox"/> グリメピリド	アマリール	1~6	重篤な肝・腎機能障害禁忌
速効型インスリン分泌促進薬<食直前>			
<input type="checkbox"/> ナテグリニド	ファスティック・スターシス	90~360	食直前用法、SU剤と併用しない、透析患者原則禁忌
<input type="checkbox"/> ミチグリニドカルシウム	グルファスト	15~30	食直前用法、SU剤と併用しない
ビグアナイド薬(BG)			
<input type="checkbox"/> メトホルミン	メルピン・グリコラン・メデット・ネルビス・メトグルコ	500~750 (~2250)	乳酸アシドーシス(腹痛・嘔吐、意識障害)、造影剤併用禁※
<input type="checkbox"/> ブホルミン	ジベトス	100~150	乳酸アシドーシス(腹痛・嘔吐、意識障害)、造影剤併用禁※
チアゾリジン薬(TZD)			
<input type="checkbox"/> ピオグリタゾン	アクトス	15~45	浮腫(水分貯留傾向)、重篤な肝・腎機能障害・心不全禁忌、肝機能異常、効果発現時期遅延
αグルコシダーゼ阻害薬(αGI)<食直前>			
<input type="checkbox"/> ボグリボース	ベイスン・ボグシール	0.6~0.9	ブドウ糖必携
<input type="checkbox"/> アカルボース	グルコバイ	150~300	ブドウ糖必携
<input type="checkbox"/> ミグリトール	セイブル	150~225	ブドウ糖必携
DPP-4阻害薬			
<input type="checkbox"/> シダグリブチン	ジャヌビア・グラクティブ	25~100	併用後の低血糖リスク上昇、30≤Ccr<50半量、Ccr<30は禁忌
<input type="checkbox"/> ビルダグリブチン	エクア	50~100	併用後の低血糖リスク上昇
<input type="checkbox"/> アログリブチン	ネシーナ	6.25~25	併用後の低血糖リスク上昇、30≤Ccr<50半量、Ccr<30は25%

BG系:ヨード系造影剤投与前48時間中止(造影CT、カテーテル検査など)、腎機能を確認後に再開

<検査値>

HbA1c

Cre・Ccr

BG:腎機能障害(軽度障害も含む)禁忌

(男性Cre>1.5、女性Cre>1.4 or Ccr<60)

※メトグルコ

中等度以上の腎機能障害禁忌

□ インスリン注射薬共通追加指導項目

- 注射手技の確認(空打ち、注射部位、消毒、単位設定)、保管方法、注射針廃棄について

インスリン製剤

製剤名	タイプ・用法	作用発現時間	作用持続時間	特定確認項目
<input type="checkbox"/> ノボラピッド	超速効型<食直前>	10-20分	3-5h	食直前
<input type="checkbox"/> ヒューマログ	超速効型<食直前>	15分未満	3-5h	食直前
<input type="checkbox"/> アピドラ	超速効型<食直前>	15分未満	2-3h	食直前
<input type="checkbox"/> ノボリンR、イノレットR	速効型<食前>	約30分	約8h	
<input type="checkbox"/> ノボリンN、イノレットN	中間型	1-3h	約24h	空打ち前に振とう
<input type="checkbox"/> ヒューマログN	中間型	30分-1h	18-24h	空打ち前に振とう
<input type="checkbox"/> ノボラピッド30ミックス	混合(2相)型<食直前>	10-20分	約24h	空打ち前に振とう
<input type="checkbox"/> ヒューマログミックス25・50	混合(3相)型<食直前>	15分未満	18-24h	空打ち前に振とう
<input type="checkbox"/> ノボリン、イノレット 30R・40R・50R	混合型<食前>	約30分	約24h	空打ち前に振とう
<input type="checkbox"/> レベミル	持効型	約1h	3-14h	
<input type="checkbox"/> ランタス	持効型	1-2h	24h	最大作用のピークなし

血液凝固阻止剤(抗血小板薬・抗凝固薬)

□ 共通重点指導項目

- 出血傾向の有無(血便・タール便、歯肉・鼻出血、皮下出血・紫斑)
- 手術、内視鏡検査などの予定(検査・手術前・抜歯時の服薬休止と服薬再開の確認)
- 休薬可否、処方意図(機械弁置換術後、薬剤溶出ステント留置後など)

抗血小板薬 ※(薬品名)はハイリスク加算に該当しないと解釈される

一般名	商品名	休薬期間	特定確認事項・留意項目
不可逆的阻害	<input type="checkbox"/> チクロピジン	パナルジン チクピロン	7~10日 開始2ヶ月間→2週間に1回の血算、生化学(肝機能) 肝障害:悪心・嘔吐、食欲不振、倦怠感、掻痒感、黄疸、褐色尿 無顆粒球症:発熱、咽頭痛、倦怠感
	<input type="checkbox"/> クロピドグレル	プラビックス	14日 TTP(血栓性血小板減少性紫斑病):食欲不振、倦怠感、紫斑等の出血症状、意識障害
	<input type="checkbox"/> アスピリン	バイアスピリン バファリン81	7~10日 喘息既往有無・消化性潰瘍有無、腸溶製剤なら一般指導 消化器症状:胃痛、胸焼け、嘔吐
	<input type="checkbox"/> (イコサペント酸エチル: EPA) エパデール		7~10日 効果発現に時間必要
可逆的阻害	<input type="checkbox"/> シロスタゾール	プレタール、フレニード	3日 相互作用:CYP3A4・2C19阻害薬に注意・グレープフルーツ禁 動悸・頻脈(心不全、狭心症誘発)、ほてり、頭痛・頭重感
	<input type="checkbox"/> (ジピリダモール)	アンギナール・ペルサンチン	1~2日 抗血小板作用は比較的弱い、狭心症悪化の恐れ
	<input type="checkbox"/> (リマプロスト アルファデクス)	オパルモン	1日 抗血小板作用は比較的弱い
	<input type="checkbox"/> (ベラプロストナトリウム)	ドルナー、プロサイリン	1日 抗血小板作用は比較的弱い、血流改善、肺高血圧治療薬
	<input type="checkbox"/> (イフェンブロジル)	セロクラール	2日 抗血小板作用は比較的弱い
<input type="checkbox"/> (サルボグレラート)	アンブラーグ	1日 ヒトでの抗血小板作用は比較的弱い、血管収縮抑制作用が強い	

□ ワルファリン追加指導項目

- 食品等:納豆、クロレラ、青汁、大量の野菜は摂取禁止
- 用量厳守、忘薬時→概ね12時間以内は服用可、それ以上は2回分まとめて服用しない

抗凝固薬

一般名	商品名	休薬期間	特定項目
可逆的阻害	<input type="checkbox"/> ワルファリンカリウム	ワーファリン	ワーファリン作用↑ 併用禁:ゼローダ(出血死亡報告例有) 相互:抗生物質、フェニトイン、NSAIDs、SU剤、ベンズブロマロン、アミオダロン等、CYP2C9阻害/タンパク結合競合、長期の食量低下
			ワーファリン作用↓ 併用禁:メナテレノン(グラケー)、納豆、クロレラ、青汁、大量の野菜 相互:リファンピシン、バルビタール、カルバマゼピン、プリミドン、副腎皮質ホルモン等 出血傾向 歯茎出血、鼻血、皮下出血、血尿等 皮膚壊死(初期負荷投与などで起りやすい):皮膚が赤くなり痛い 肝障害・黄疸:悪心・嘔吐、食欲不振、倦怠感、掻痒感、黄疸、褐色尿

不整脈治療剤

□ 共通重点指導項目

○催不整脈作用(徐脈、心室頻拍:失神、眼前暗黒感、眩暈感、動悸、胸部違和感、意識薄れる)
○それぞれの薬理作用に基づく有害事象モニタリング

不整脈用剤の特性と服薬指導

分類	主な特性	一般名	商品名	主な薬理作用 (標的チャンネル・受容体など)								臨床効果・心電図への影響					薬物動態		その他の適応・有害事象・併用禁忌			
				Na 注1 早中遅	Ca	K 注2	If	α	β	M2 抗コリン	左室機能	心拍数	PR	QRS	JT (QT)	代謝排泄 (%)	半減期	抗不整脈以外の 使用法	心外性 副作用	特定指導・確認項目		
I a	Naチャンネル ブロッカー	□ キニジン	硫酸キニジン	●A		◎	○				○	→	↑	↓↑	↑	↑	腎 20: 肝 80	6h		◎	QT延長(Tdp)、下痢、抗コリン作用	
		□ プロカインアミド	アミサリン	●A		◎						↓↓	↓	↑	↑	↑	腎 60: 肝 40	2.2(7.9)h		●	妊婦禁忌、SLE様症状、レボトラ禁忌	
		□ ジソピラミド	リスモダン、ノルベース	●A		◎						○	↓↓↓↓	→	↓↑	↑	↑	腎 70	5-7h	閉塞性肥大型心筋症	◎	抗コリン作用、QT延長(Tdp)、左室機能低下(心不全悪化)、腎機能低下減量、低血糖
		□ シベンゾリン	シベノール	●A	○	◎						○	↓↓(?)	→	↑	↑	→	腎 80	5-7h	閉塞性肥大型心筋症	○	抗コリン作用、QT延長(Tdp)、左室機能低下(心不全悪化)、腎機能低下減量、透析患者禁忌、低血糖
		□ ピルメノール	ピメノール	●A		◎						○	↓↓(?)	↑	↑	↑	↑→	腎 70	7-11h		○	抗コリン作用、QT延長(Tdp)、左室機能低下(心不全悪化)、腎機能低下減量
I b		□ メキシレチン	メキシチール	○								→	→			↓	肝 90<	10-12h	神経因性疼痛	◎	嚥下機能低下、悪心・嘔吐、デオフィリンの血中濃度上昇	
		□ アプリンジン	アスペノン	●I	○	○	○					→	→	↑	↑	→	肝 95<	8-15h		◎	妊婦禁忌、肝機能異常、非線形性血中濃度上昇(代謝飽和)	
I c		□ フレカイニド	タンボコール	●A		○						↓↓↓↓	→	↑	↑		腎 85	8-14h		○	腎機能低下減量、妊婦禁忌	
		□ ビルシカイニド	サンリズム	●A								↓↓↓~	→	↑	↑		腎 90<	4-5h		○	高齢者、腎機能低下時減量	
		□ プロパフェノン	プロノン	●A								◎	↓↓↓↓	↓	↑	↑	肝 80-90	2-3h		○	セイヨウオトギリソウ禁忌	
II	β遮断 (主なもの) 注3	□ プロプラノロール	インデラル、ヘルツベース									↓↓	↓	↑			肝 >> 腎	2-5h	高血圧、狭心症	○	左室機能低下(心不全悪化)、徐脈	
		□ カルベジロール	アーチスト									↓ (↑↑)	↓				肝 >> 腎	2-8h	高血圧、慢性心不全	○	α/βブロッカー: β非選択的(喘息禁忌)、妊婦禁忌	
		□ アロチノロール	アルマルル										↓↓	↓			肝(糞中84)	2-8h	高血圧、狭心症、本態性振戦	○	α/βブロッカー: β非選択的(喘息禁忌)、妊婦禁忌	
		□ アテノロール	テノーミン										↓↓	↓			肝+腎(各50)	8-11h	高血圧、狭心症	○	β1選択的	
		□ ビソプロロール	メインテート										↓(↑)	↓			腎	8-9h	高血圧、狭心症、(心不全)	○	β1選択的(120倍)	
		□ メトプロロール	セロケン、ロブレソール										↓(↑)	↓			腎	2.8h	高血圧、狭心症、(心不全)	○	β1選択的(80倍)	
III	Kチャンネル ブロッカー	□ アミオダロン	アンカロン	○	○	●	◎	◎				→	↓	↑		↑	肝 95<	14-100日		●	間質性肺炎/肺線維症(咳)、肝機能異常(倦怠感、黄疸)、甲状腺機能異常、QT延長(Tdp)、長期投与で角膜炎、初期の負荷投与(400mg/日)	
		□ ソタロール	ソタコール			●		●				↓↓	↓	↑		↑	腎 90<	7-11h		○	QT延長(Tdp)、左室機能低下(心不全悪化)、徐脈	
IV	Ca拮抗薬	□ ベプリジル	ベプリコール	○	●	◎						→	↓			↑	腎 50			○	QT延長(Tdp)	
		□ ベラパミル	ワソラン	○	●			◎				↓↓↓~ ↓↓↓↓	↓	↑			腎 20: 肝 80	6-7h	高血圧、狭心症	○	妊婦禁忌	
		□ ジルチアゼム	ヘルベッサー		◎							↓~→	↓	↑			腎 35: 肝 60	4-5h	高血圧、狭心症	○	Rカプセルは粉碎不可(Tmax 14h、T1/2は7h)	

作用の相対的強さ: ○=低 ◎=中 ●=高 ※●A=活性化チャンネルブロッカー ●I=不活性化チャンネルブロッカー ■=作動薬

注1: Naチャンネルへからの解離が遅いものは抗不整脈作用が強く、心機能抑制作用も強い(心不全注意)。

注2: KチャンネルブロッカーはQT延長作用がある。催不整脈作用の究極型→Tdp(Torsades de pointes): 繰り返し発生する失神発作、眼前暗黒感、眩暈感、意識の遠のく感じ、動悸、胸部違和感

注3: 他のβブロッカー: ビンドロール(カルビスケン)、アルブレノロール(スカジロール)、オクスブレノロール(トラサコール)、プフェトロール(アドビオール)など

ジギタリス製剤、テオフィリン製剤

□ 共通重点指導項目

- 過量・中毒症状モニタリング
- 可能であれば、薬物血中濃度モニタリング

ジギタリス製剤

一般名	商品名
<input type="checkbox"/> ジゴキシン	ジゴキシン・ジゴシン・ハーフジゴキシンKY
<input type="checkbox"/> メチルジゴキシン	ラニラピッド

重点指導項目 過量症状	副作用症状、体調変化 ジギタリス中毒症状(食欲不振、悪心・嘔吐、下痢、めまい、頭痛、不整脈の出現)、可能であれば、腎機能、電解質データの確認	相互作用	作用増強 アンカロン、クラリス、イトリゾール、ヘルベッサー、ワソラン(代謝酵素、P糖タンパク阻害によるクリアランス低下)、 β 遮断薬等(徐脈の助長) 中毒症状を起こしやすい条件: 低K血症(K排泄型利尿薬の有無)、高Ca血症(Ca含有製剤)、低Mg血症
	血中濃度 (ng/mL)		治療域(ジゴキシン): 0.5~1.5(※諸説あり、0.5以下は無効、1.4を超えると特に高齢者では副作用症状の頻度増加)

テオフィリン製剤

商品名	<input type="checkbox"/> テオドール・テオロング・ユニフィル・テオスロー ※OTC薬 テオフィリン(ミルコデ錠・アネトンせき止め顆粒、センペア内服液等)、アミノフィリン(強力アスメトン)
-----	---

重点指導項目 過量症状	副作用症状、体調変化 消化気症状(悪心・嘔吐、食欲不振、下痢、胃部不快感)、精神神経系(頭痛、不眠、痙攣様症状)、循環器(頻脈、動悸、不整脈)	相互作用	作用増強 CYP1A2阻害: 14員環系マクロライド(クラリス、エリスロシン、ルリッド)、ニューキノロン系(一部)、タガメット 重複: カフェイン(コーヒー、茶類)、吸収↑: カプサイシン
	血中濃度 (μ g/mL)		治療域: 5~15(高齢者: 5~10) 20~25で消化器症状・頭痛・心拍数↑(100~119 bpm) 25~40で心拍数↑(120以上)・呼吸促進・不整脈・痙攣 40以上で不整脈・痙攣・心停止

小児ガイドライン	6か月未満の乳児(原則として投与しない)、慎重投与: ①てんかん及び痙攣の既往歴(2歳未満の既往歴患者には原則使用しない)、②発熱 小児1回投与量の目安: 6か月~1歳未満 3mg/kg、1歳以上 4~5mg/kg ※発熱時は血中濃度が上昇しやすいので、減量を推奨 有効血中濃度5~10 μ g/ml
----------	--

精神神経用剤

□ 共通重点指導項目

- 服薬アドヒアランス低下、薬物依存傾向、自殺企図等による過量服薬の危険性のある患者の把握と服薬管理の徹底
- ふらつき感、めまい、転倒に関する注意喚起、有害事象モニタリング(下記参照:個々の症状について列挙して質問しないように注意→なるべく開いた質問でのモニタリングを心がける事)
- 特に非定型抗精神病薬では、血液疾患、内分泌疾患等の副作用モニタリング

- 錐体外路症状:ジストニア(目が上を向く、呂律不良、首や上肢筋のつっぱり感)、遅発性ジスキネジア(顔や口、顎、舌、手足、体の不随意運動、頻回のまばたき、腕や体をねじる)、アカシジア(焦燥感・静止不能:絶えず歩き回る、貧乏ゆすり、足のバタバタ、じっとしてられない)
- パーキンソン症候群(歩行障害、姿勢不安定、無動、歩行困難、ヨチヨチ歩き)
- 悪性症候群(高熱、異常発汗、振戦、頻脈、横紋筋融解、CPKの上昇等)
- セロトニン症候群(頭痛、めまい、嘔吐、錯乱、振戦、昏睡、発熱、高血圧、異常発汗、頻脈、下痢、痙攣、反射亢進、興奮など)

自殺のサイン(自殺予防の十箇条)

- ① うつ病の症状に気をつけよう(気分が沈む、自分を責める、仕事の能率が落ちる、決断ができない、不眠が続く) ② 原因不明の身体の不調が長引く ③ 酒量が増す ④ 安全や健康が保てない ⑤ 仕事の負担が休に増える、大きな失敗をする、職を失う ⑥ 職場や家庭でサポートが得られない ⑦ 本人にとって価値のあるもの(職、地位、家族、財産)を失う ⑧ 重症の身体の病気にかかる ⑨ 自殺を口にする ⑩ 自殺未遂に及ぶ

<SSRI, SNRI> 眠気、ふらつき、口渇、便秘、下痢、悪心、嘔吐、アクチベーションシンドローム(開始・増量時)、エプビー(セレギリン)投与中、あるいは中止後2週間禁忌、その他気になること

分類	一般名	商品名	特定確認項目
SSRI	<input type="checkbox"/> セルトラリン	ジェイゾロフト	胃腸障害、不眠、焦燥、性機能障害、オーラップ(ピモジド)併用禁忌、※抗コリン作用弱い
	<input type="checkbox"/> フルボキサミン	デプロメール、ルボックス	胃腸障害、テルネリン(チザニジン)、オーラップ(ピモジド)併用禁忌
	<input type="checkbox"/> パロキセチン	パキシル	胃腸障害、不眠、焦燥、性機能障害
SNRI	<input type="checkbox"/> ミルナシبران	トレドミン	胃腸障害、不眠、焦燥、性機能障害、血圧上昇、、禁忌:尿閉
NaSSa	<input type="checkbox"/> ミルタザピン	リフレックス、レメロン	過鎮静、体重増加、※胃腸障害は起こりにくい、強力な抗うつ作用

<三環系、四環系抗うつ薬> 眠気、ふらつき、口渇、便秘、その他気になること、MAO阻害薬 エプビー(セレギリン)投与中、あるいは中止後2週間禁忌

分類	一般名	商品名	特定確認項目
三環系抗うつ薬	<input type="checkbox"/> クロミプラミン	アナフラニール	起立性低血圧、体重増加、過鎮静、抗コリン作用強い、尿閉、緑内障悪化、心筋虚血増悪、QT延長症候群
	<input type="checkbox"/> ノルトリプチリン	ノリレン	※三環系の中では抗コリン作用が比較的弱い
	<input type="checkbox"/> アミトリプチリン	トリプタノール	起立性低血圧、体重増加、過鎮静、尿閉、緑内障悪化、心筋虚血増悪
	<input type="checkbox"/> アモキサピン	アモキサ	抗コリン作用強い、尿閉、緑内障悪化、心筋虚血増悪
	<input type="checkbox"/> イミプラミン	トフラニール	尿閉、緑内障悪化、心筋虚血増悪、QT延長症候群
	<input type="checkbox"/> トリミプラミン	スルモンチール	尿閉、緑内障悪化、心筋虚血増悪
	<input type="checkbox"/> ロフェプラミン	アンプリット	尿閉、緑内障悪化、心筋虚血増悪
	<input type="checkbox"/> ドスレピン	プロチアデン	尿閉、緑内障悪化、心筋虚血増悪
四環系抗うつ薬	<input type="checkbox"/> ミアンセリン	テトラミド	過鎮静
	<input type="checkbox"/> マプロチリン	ルジオミール	体重増加、過鎮静、起立性低血圧、抗コリン作用、尿閉、緑内障、心筋梗塞回復期、てんかん
	<input type="checkbox"/> セチプチリン	テシプール	

<非定型SDA, DSS, MARTA薬> 眠気、不眠、口渇、錐体外路症状(振戦、言語障害、歩行障害、落ち着きがない等)、その他気になること

分類	一般名	商品名	特定確認項目
SDA	<input type="checkbox"/> リスベリドン	リスパダール	体重増加、血糖値上昇、プロラクチン上昇(月経・乳汁分泌異常)、※抗コリン作用は少ない
	<input type="checkbox"/> ペロスピロン	ルーラン	食後投与
	<input type="checkbox"/> ブロナンセリン	ロナセン	アゾール系抗真菌薬、HIVプロテアーゼ阻害薬投与中禁忌
DSS	<input type="checkbox"/> アリピプラゾール	エビリファイ	マイルドな鎮静効果、不眠、焦燥、胃腸障害
MARTA	<input type="checkbox"/> オランザピン	ジブレキサ	血糖値上昇、糖尿病禁忌、体重増加
	<input type="checkbox"/> クエチアピン	セロクエル	過鎮静、血糖値上昇、糖尿病禁忌、体重増加
	<input type="checkbox"/> クロザピン	クロザリル	過鎮静、抗コリン作用、血糖値上昇、糖尿病禁忌、体重増加

精神神経用剤(続)

<デパス、リーゼ、レスリン、デジレル> 眠気、ふらつき、その他気になること

分類	一般名	商品名	特定確認項目
ベンゾジアゼピン系	<input type="checkbox"/> エチゾラム	デパス、エチゾラン	禁忌: 緑内障(デパス、リーゼ)
	<input type="checkbox"/> クロチアゼパム	リーゼ	禁忌: 重症筋無力症(デパス、リーゼ)
その他	<input type="checkbox"/> トラゾドン	レスリン、デジレル	持続性勃起(男性)(レスリン、デジレル)
	<input type="checkbox"/> ヒドロキシジン	アタラックス	妊娠(アタラックス)

<フェノチアジン系、ブチロフェノン系、ロドピン> 眠気、不眠、錐体外路症状、その他気になること

分類	一般名	商品名	特定確認項目
フェノチアジン系	<input type="checkbox"/> クロルプロマジン	コントミン、ウインタミン	体重増加、血糖値上昇、脂質異常、起立性低血圧、過鎮静、※抗コリン作用が強い
	<input type="checkbox"/> 配合錠	ベゲタミンA、ベゲタミンB	2歳未満禁忌、ブイフェンド(ポリコナゾール)併用禁忌
	<input type="checkbox"/> レボメプロマジン	ヒルナミン、レボトミン	
	<input type="checkbox"/> フルフェナジン	フルメジン	禁忌: 妊婦、パーキンソン病(フルメジン、ブチロフェノン系)
	<input type="checkbox"/> ペルフェナジン	ピーゼットシー、トリラホン	
	<input type="checkbox"/> プロクロルペラジン	ノバミン	オピオイド薬の制吐
	<input type="checkbox"/> トリフロペラジン	トリフロペラジン	
ブチロフェノン系	<input type="checkbox"/> ハロペリドール	セレネース、リントン	錐体外路症状が強い、プロラクチン値上昇(月経・乳汁分泌異常)、禁忌: 妊婦、パーキンソン病
	<input type="checkbox"/> ブロムペリドール	インプロメン	禁忌: 妊婦、パーキンソン病
	<input type="checkbox"/> フロロピバミド	プロビタン	禁忌: 妊婦、パーキンソン病
	<input type="checkbox"/> スピペロン	スピロピタン	禁忌: 妊婦、パーキンソン病
	<input type="checkbox"/> モベロン	ルバトレン	禁忌: 妊婦、パーキンソン病
	<input type="checkbox"/> チミベロン	トロベロン	禁忌: 妊婦、パーキンソン病
	<input type="checkbox"/> ピモジド	オーラップ	禁忌: 妊婦、パーキンソン病、HIVプロテアーゼ阻害薬、アゾール系抗真菌薬、マクロライド系、SSRI併用禁忌
その他	<input type="checkbox"/> ソテピン	ロドピン	

<リーマス、ドグマチール、リタリン等> 眠気、不眠、頭痛、口渇、便秘、食欲減退、その他気になること

分類	一般名	商品名	特定確認項目
ベンサミド系	<input type="checkbox"/> スルピリド	ドグマチール	プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍、腎機能、褐色細胞腫
	<input type="checkbox"/> スルトプリド	バルネチール	プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍
	<input type="checkbox"/> ネモナブリド	エミレース	
その他	<input type="checkbox"/> 炭酸リチウム	リーマス	腎機能
	<input type="checkbox"/> メチルフェニデート	リタリン、コンサータ	緑内障、甲状腺機能亢進、狭心症、褐色細胞腫、不整脈、視覚障害 MAO阻害薬 エフピー(セレギリン)投与中、あるいは中止後2週間禁忌
	<input type="checkbox"/> アトモキセチン	ストラテラ	MAO阻害薬 エフピー(セレギリン)投与中、あるいは中止後2週間禁忌
	<input type="checkbox"/> モダニフィル	モディオダール	不整脈
	<input type="checkbox"/> カルピプラミン	デフェクトン	
	<input type="checkbox"/> クロカプラミン	クロフェクトン	
	<input type="checkbox"/> モサプラミン	クレミン	
	<input type="checkbox"/> オキシベルチン	ホーリット	

抗てんかん剤

○服薬アドヒアランスの確認と服薬管理の徹底、発作状況(過小投与量による効果不十分)、肝機能検査値(AST=GOT、ALT=GPT、 γ -GTP)、その他気になること
○眠気、ふらつき感、めまい、転倒に関する注意喚起

□ 共通重点指導項目

一般名	商品名	有効血中濃度 ($\mu\text{g/mL}$)	過量症状	特定確認項目
バルビタール系				
□ フェノバルビタール	フェノバル	10-40	眠気、めまい、運動失調、眼振、複視、小児の多動、せん妄	ポリコナゾール(ブイフェンド)禁忌、眼振、運動失調
□ プリミドン	プリミドン	5-10		
ヒダントイン系				
□ フェントイン	アレビアチン・ヒダントール	10-20	眠気眼振、複視、視力障害、運動失調	歯肉増殖
オキサゾリジン系				
□ トリメタジオン	ミノアレ			
スクシミド系				
□ エトスクシミド	ザロンチン・エピレオプチマル	40-100	眠気、めまい、頭痛、平衡障害、食欲低下、悪心嘔吐、吃逆	
スルホンアミド系				
□ スルチアム	オスポロット			
アセチルウレア系				
□ アセチルフェネトライド	クランポール			
ベンゾジアゼピン系				
□ ジアゼパム	ホリゾン・セルシン・ダイアアップ			
□ ニトラゼパム	ベンザリン・ネルボン			
□ クロナゼパム	リボトリール・ランドセン	0.01-0.08	眠気、ふらつき、脱力、悪心嘔吐	錯乱、失調、呼吸抑制
□ クロバザム	マイスタン	10-20		錯乱、失調、呼吸抑制
イミノステルベン系				
□ カルバマゼピン	テグレートール・テレスミン・レキシシ	4-10	食欲低下、悪心嘔吐、ふらつき、眠気、複視	ポリコナゾール(ブイフェンド)禁忌、皮膚粘膜症候群
分枝脂肪酸系				
□ バルプロ酸ナトリウム	デパケン・セレニカ・バレリン	50-100	悪心嘔吐、眠気、めまい、振戦	カルバペネム系禁忌、妊婦(原則禁忌)
その他				
□ ゾニサミド	エクセグラン	10-30	食欲低下、悪心嘔吐、眠気、脱力、複視、頭痛、運動失調	発汗減少→熱中症注意
□ ガバペンチン	ガバペン		眠気、ふらつき、めまい、頭痛、複視	発疹、 $30 < \text{Ccr} < 60$: 1000mg未満、 $15 < \text{Ccr} < 29$: 500mg未満、 $\text{Ccr} < 14$: 200mg未満
□ トピラマート	トピナ			発汗減少、 $\text{Ccr} < 70$: 半量)
□ ピラセタム	ミオカーム			$40 < \text{Ccr} < 60$: 半量、 $20 < \text{Ccr} < 40$: 1/4量、 $\text{Ccr} < 20$: 禁忌)
□ ラモトリギン	ラミクタール		眠気、めまい、複視	発疹、ライエル症候群

免疫抑制剤

□ 共通重点指導項目

- 感染症発症・悪化の予防→対策指導(マスク、うがい、手洗い、早めの受診)
- 一般用医薬品やサプリメント等の併用やグレープフルーツ等の飲食物や食事との相互作用回避のための説明

<アザニン・セルセプト・プレディニン・リウマトレックス等> 妊娠(禁忌)、その他気になること

一般名	商品名	特定確認項目
アザチオプリン	イムラン・アザニン	白血球減少、下痢、肝障害、口内炎
ミゾリビン	プレディニン	発疹、間質性肺炎、悪心、腎機能、高尿酸血症、白血球減少、脱毛、口内炎
ミコフェノール酸モチフェル	セルセプト	高尿酸血症、白血球減少、下痢
メトトレキサート	リウマトレックス・メソトレキセート	間質性肺炎(長引く咳)、口内炎、大球性貧血(MCV>100)、骨髄抑制、慢性肝疾患、腎機能低下禁忌、12時間毎に3回投与後5日間休薬、1週間に8mgまで、眠前は避ける、必要時葉酸併用(MTX内服の24~48時間後)
レフルノミド	アラバ	慢性肝疾患、腹痛、嘔気、高血圧、咳、発熱、呼吸困難、口内炎

<カルシニューリンインヒビター> 検査値(HbA1c、K↑、Mg↓)、腎機能障害(BUN、Cre)、妊娠(禁忌)、血中濃度、その他気になること

一般名	商品名	特定確認項目
シクロスポリン	ネオオラル、サンディミュン	多毛、腎障害、高血圧、糖尿病、歯肉肥厚、振戦、プログラフィ、リバロ、コレステロール、トラクリア併用禁
タクロリムス	プログラフィ、グラセプター	振戦、頭痛、胸痛、発疹、嘔吐、腎障害、高血圧、高尿酸血症、ネオオラル、トラクリア、アルダクトン併用禁

相互作用

血中濃度上昇	マクロライド系抗生物質、アゾール系抗真菌薬、カルシウム拮抗薬、HIVプロテアーゼ阻害薬、グレープフルーツジュース
血中濃度低下	抗てんかん薬、抗結核薬、セイヨウオトギリソウ

<内服ステロイド>(免疫抑制目的時のみ算定可能)

共通確認項目: 感染症誘発(発熱、倦怠感)、消化管出血(胃痛、黒色便・タール便)、血糖上昇(口渇、多飲)、離脱症状(発熱、倦怠感、頭痛、食欲不振、嘔吐)、骨粗鬆症(腰痛)、うつ症状、不眠、過食、食欲低下、血圧上昇、満月様顔、肥満、緑内障、白内障、妊娠、生ワクチン投与不可、その他気になること

一般名	商品名	作用時間、特定確認項目
ヒドロコルチゾン	コートリル	短時間型、多くは副腎不全(ステロイド補充目的)、糖質コルチコイド作用(1): 鉱質コルチコイド作用(1)
プレドニゾロン	プレドニン、プレドニゾロン	中間型、糖質コルチコイド作用(4): 鉱質コルチコイド作用(0.7)
メチルプレドニゾロン	メドロール	中間型、糖質コルチコイド作用(5): 鉱質コルチコイド作用(0.8)
トリアムシノロン	レダコート	中間型、糖質コルチコイド作用(5): 鉱質コルチコイド作用(0)
デキサメタゾン	デカドロン	長時間型、糖質コルチコイド作用(25-40): 鉱質コルチコイド作用(0)
ベタメタゾン	リンデロン	長時間型、糖質コルチコイド作用(25-40): 鉱質コルチコイド作用(0)
フルドロコルチゾン	フロリネフ	中間型

糖質コルチコイド作用の力価換算: コルチゾール20mg=プレドニゾロン5mg=メチルプレドニゾロン4mg=トリアムシノロン4mg=デキサメタゾン0.5mg=ベタメタゾン0.5mg

抗悪性腫瘍剤

□ 共通重点指導項目

- 主治医からの説明内容・告知の状況確認、化学療法に対する不安への対応
- 適応症・施行レジメンの種類、休薬期間・治療スケジュール確認
- 骨髄抑制、感染症・出血傾向のモニタリング、有害事象の初期症状説明、用法用量・DLF(用量規制因子)の確認

全身状態やPS(Performance Status)の把握、支持療法・疼痛緩和状況・麻薬等の使用状況(レスキューの頻度)の確認→必要に応じ提案
可能であれば、画像診断、腫瘍マーカー、白血球、ヘモグロビン値、血小板数などによる治療効果・副作用の確認

分類	一般名	商品名	確認事項
アルキル化薬	シクロホスファミド(CPA)	エンドキサン	骨髄抑制、悪心嘔吐、脱毛
	メルファラン(L-PAM)	アルケラン	骨髄抑制、悪心嘔吐、脱毛
代謝拮抗薬	テモゾロミド	テモダール	骨髄抑制、悪心嘔吐、発疹、頭痛、倦怠感、浮腫
	フルオロウラシル(5-FU)	5-FU	悪心嘔吐、下痢、口内炎、発疹、骨髄抑制
	ドキシフルリジン(5'-DFUR)	フルソロン	
	カベシタピン	ゼローダ	手足症候群(皮膚障害)、消化器症状、口内炎、肝障害、骨髄抑制
	テガフル(FT)	フトラフル	
	配合(U/FT)	ユーエフティ	消化器症状、骨髄抑制、肝障害
	配合(FT/CHDP/Oxo)	TS-1	消化器症状、骨髄抑制、肝障害、皮膚障害
	シタラピンオクスファート水和物	スタラシド	
	フルダラピン	フルダラ	骨髄抑制、悪心嘔吐、発疹、倦怠感、知覚障害、感覚異常、肝障害
	ホリナートカルシウム(LV)	ロイコボリン、ユーゼル	
	ヒドロキシカルバミド(HU)	ハイドレア	
アロマターゼ阻害薬	アナストロゾール	アリミデックス	倦怠感、悪心、下痢、頭痛、関節痛
	エキセメスタン	アロマジン	倦怠感、関節痛、頭痛
	レトロゾール	フェマーラ	倦怠感、関節痛、頭痛
	ホルモン(抗エストロゲン)	タモキシフェン(TAM)	ノルバデックス、タスオミン
	トレミフェン	フェアストン	悪心・嘔吐(初期)、顔面紅潮、発汗
ホルモン(抗アンドロゲン)	フルタミド	オダイン	下痢・腹痛、肝機能障害、高血圧
	ピカルタミド	カソデックス	悪心、下痢、便秘、発疹、乳房痛、ワルファリン効果増強
ホルモン(プロゲステロン)	メドロキシプロゲステロン(MPA)	ヒスロンH	
ホルモン(エストラジオール)	エストラムステン	エストラサイト	高カルシウム食品による吸収低下、悪心、下痢、女性化乳房、発疹
トメイソメラーゼⅡ阻害薬	エトボシド(VP-16)	ラストテット、ペプシド	骨髄抑制、食欲不振、脱毛、発疹
	ソブゾキサン	ベラゾリン	
分子標的治療薬	イマニチブ	グリベッグ	発疹、浮腫、消化器症状(悪心嘔吐対策は多めの水=200mL位で服用)、骨髄抑制、肝障害、間質性肺炎
	ニロチニブ	タシグナ	食前または食後2時間服用(吸収率増加)、発疹、浮腫、消化器症状、骨髄抑制、肝障害、間質性肺炎、QT延長
	ダサニチブ	スプリセル	発疹、下痢、浮腫、骨髄抑制、肝障害、間質性肺炎、QT延長
	スニチニブ	スーテント	高血圧、下痢、骨髄抑制、発疹・手足症候群、消化器症状、QT延長、心不全、倦怠感(甲状腺機能低下)
	ソラフェニブ	ネクサバル	高血圧、下痢、肝障害、間質性肺炎、発疹・手足症候群、倦怠感
	ゲフィチニブ	イレッサ	皮膚、下痢、肝障害、間質性肺炎、胃酸で溶出(PPI等注意)
	エルロチニブ	タルセバ	皮膚、肝障害、下痢、間質性肺炎、口内炎、胃酸で溶出(PPI等注意)
	ラパチニブ	タイケルブ	発疹、下痢、間質性肺炎、肝障害、QT延長、爪周囲炎
	サリドマイド	サレド	専用管理システム(TERMS)、催奇形性
		トレチノイン	ベサノイド
	タミバロテン	アムノレイク	
非特異的免疫賦活薬	かわらたけ	クレスチン	
	ウベニメクス	ベスタチン	
その他	アセグラトン	グルカロン	
	エベロリムス	アフィニトール	

※抗悪性腫瘍剤として使われている場合のみ算定可能

チガソン(口腔乳糖種)

パーロデル(高プロラクチン血性下垂体腺種)

プロスタール(前立腺癌)

カバサール(高プロラクチン血性下垂体腺種)

抗HIV剤

□ 共通重点指導項目

- 服薬アドヒアランス維持の徹底(遵守率95%以下で薬剤耐性HIV出現のリスク急上昇などの説明、服薬状況の確認)
- 食事の影響・健康食品等との相互作用・併用禁忌薬について
- 原疾患に対する感染症予防(マスク、うがい、手洗い)指導、発熱、発疹等の初期症状、CD4値などの確認による治療経過確認と副作用モニタリング

一般名	商品名	用法・用量	食事の影響
核酸系逆転写酵素阻害剤(NRTI)			
ジドブジン	レトロビル	500～600mgを2～6回に分服	
サニルブジン	ゼリット	80mg/分2(体重60kg未満:60mg/分2)	
ラミブシン	エピビル	300mg/分1又は300mg/分2	
エムトリシタビン	エムトリバ	200mg/分1	
ジダノシン	ヴァイデックスEC	400mg/分1(体重60kg未満250mg/分1)	食間
アバカビル	ザイアジェン	300mg	
テノホビルジソプロキシル	ビリアード	300mg	
ジブトラシン+ラミブシン	コンビビル	2錠/分2	
ラミブシン+アバカビル	エプジコム	1錠/分1	
テノホビルジソプロキシル+エムトリシタビン	ツルバダ	1錠/分1	
非核酸系逆転写酵素阻害剤(NNRTI)			
ネビラビン	ビラミューン	400mg/分2	
エファレビレンツ	ストックリン	600mg/分1	
デラビルジン	レスクリプター	1200mg/分3	
エトラビルン	インテレンス	1回2錠 1日2回	食後
プロテアーゼ阻害剤(PI)			
インジナビル	クリキシバン	2400mg/分3	食間
サキナビル	インビラーゼ	SQV2000mg+RTV200mg/分2	食後
リトナビル	ノービア	1200mg/分2	食後
ネルフィナビル	ビラセプト	2500mg/分2、2250mg/分3	食後
ロピナビル/リトナビル	カレトラ	4錠/分2	
アタザナビル	レイアタツ	2Cap/分2	食中・食直後
ホスアンブレナビル	レクシヴァ		
ダルナビル	プリジスタ	DRV1200mg+RTV200mg/分2	食中・食直後
	プリジスタナイーブ	DRV800mg+RTV100mg/分1	食中・食直後
インテグラーゼ阻害剤(INI)			
ラテグラビル	アイセントレス	800mg/分2	
CCR5阻害剤			
マラビロク	シーエルセントリ	600mg/分2	